

参加者もア然!

時給177万円の非常勤行政委員

「時給100万円超も! 非常勤行政委員のヒジョウウシキな高額報酬を斬る! 北海道・東北市民オンブズマンネットワーク 市民フォーラム6・5@仙台」が開催され、各地のオンブズマンとタイアップグループなど100名の参加で熱気につつまれた集会となりました。

基調報告は仙台市民オンブズマンの千葉晃平弁護士がおこないました。はじめにテレビ朝日系で放映されたスーパードメインが映されました。が、なんとその取材の先は仙台市ではありませんか。仙台市の泉区の選挙管理委員が、年4日で41分しか出勤していないのに年間121万円、時給177万円の異常ともいえる超高額報酬を受け取っていたのです。

これは働こうが働くまいが、毎月同額の報酬を受け取ることができる月額制になっているからです。仙台市民としては、驚くやら、恥ずかしいやら。

しかし他の県でも同様で、平均でも約7万円もの報酬を得ており、制度そのものが欠陥であることが明らかになりました。

また、昨年4月同問題で大阪高裁において滋賀県の公金差し止め訴訟の原告となって勝利し



た吉原稔弁護士が、21年間の議員生活も振り返りながら、裁判に至った経過を話され、「月1回〜2回程度の会議に出て月額20万円から50万円もの報酬を得ている(ノーワーキングリッチ)」吉原氏の造語)非常勤行政委員が全国に3000人もいる。ワーキングプアが深刻となっているもとで、受け容れられない」と熱く語りました。

※行政委員会 首長から独立した行政機関で、教育、公安、選挙管理、人事、労働、収用など。ほとんどの委員が非常勤。学識経験者や弁護士、元公務員などが就いて、報酬は条例で決められているが、月額制で高額報酬をもらっているから、公正中立な立場を期待してもどだい無理というもの。

タイアップグループでは、直前でしたが会員にFAXニュースをおくりました。参加いただきました皆さんありがとうございました。

◆当日参加の3人の方に感想を寄せていただきました。(下記参照)

感想

甘い汁を吸わせるのは!?

市民フォーラムに

参加して

仙台市民オンブズマン
タイアップグループ会員

A・S

100万円を超える時給だなんて、漫画のゴルゴ13じゃあるまいし、何処にそんな仕事があるのかと思つたら、ありました。「非常勤行政委員」。もちろん殺し屋ではありません。監査委員、労働委員などです。

市民のために大切な仕事をして頂いていると思つていたのに。年間勤務時間がたった2時間でなんと年報240万円以上。多くの勤労者は年1500時間以上働いているでしょう。仮にその人が年450万円のお給料だとしても時給

3000円以下。それでも良い方なのに。

でも多くの善良な市民は、この実態を知りません。このような中で、吉原稔先生の講演「非常勤行政委員月額報酬問題」は、ちょっと難しかったのですが、とても励まされました。

今回の講演会でもう一つ気になったのは特別報告の敗訴費用負担問題です。これは情報公開の権利を失わせるものです。住民訴訟は個人の利益のために行うものでないことは勿論、原告市民は身銭を切っているのに、相手側役人は市民の血税を使っているのです。その上、敗訴したらまた出せ!ですか。裁判費用の二重取りではないかと思つています。実に腹立たしいことです。

吉原稔弁護士による講演

「非常勤行政委員 月額報酬問題」の感想

仙台市民オンブズマン
タイアップグループ会員

佐藤 利夫

この問題は以前TV番組「スーパードメイン」で放送され、拝見しておりましたが、今回先生ご自身より、問題の原点と本質、背景、訴訟の戦略的な方法など事細かくお話し頂き、改めて、とんでもない法律の不備や矛盾が存在している事を知りました。また、問題を解決するためには、訴訟という方法で闘うしかとありえずなく、それがいかに困難な道か、その御苦労の程も想像でき、感銘を受けました。このような問題は氷山の一角でしかなく、オンブズマンの皆さまが一つ一つ渾身の力をもつて闘っている現状を、広く市民の皆さんに知って頂き、多くの市民が声を上げて頂けるようになれ

【次回例会のご案内】

偶数月の第一火曜日
宮城地域自治研究所

(朝市ビル3階)

▼次回は8月3日(火)です
賑やかにおこないたいと思います。
ふるつて御参加ください。若干のお飲物などご用意しますが、持ち込みは大歓迎です。

ば、と願っています。

ここにも税金の

無駄遣いが

仙台市民オンブズマン
タイアップグループ会員

野澤 裕子

月1〜2回の会議に出て20〜50万円の給与をもらっている、初めて聞く「ノンワーキングリッチ」の実態に驚いた。平均日額94341円、平均時給額69076円、時給1位は仙台市の177万円の委員。財政難が叫ばれ非正規雇用の職員が増やされ、市民の暮らしにかかわる予算が減らされる中で、この方は今年はお席できなかったの返還しますという気持ちにならなかつたのだろうか。

このような不公平な制度が一般の市民に気づかれず長年放置され税金が無駄に使われてきたのはいままでと同じ。大阪高裁の判決を待って制度改善を始めた県や市が出ていることから、オンブズマン活動が私たちの暮らしを守るためにもますます大切だと感じました。

今回の非常勤行政委員の実態を知る貴重な機会を、タイアップの皆様にきちんとお知らせできなかったことが残念で反省するところです。

議会ウォッチャー・仙台

議会傍聴をとおして、議会を変えるあらたな活動がはじまっています。ぜひご参加ください。詳しくは事務局まで。

驚きとため息!!
生の議事を
ウォッチ!